

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部

学年：3年

留学先大学：University of Eastern Finland

現在の学期：Fall semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	1ターム 10:00-12:00 Trends in Anglophone Literature① 14:00-16:00 Introduction to English Studies② 2ターム 12:00-14:00 Societal Perspective on Translation③ 14:00-16:00 Introduction to English Studies
水	1ターム 12:00-14:00 Second language acquisition④ 2ターム 12:00-14:00 Second language acquisition 14:00-15:00 Changing English⑤
木	1ターム 14:00-16:00 Introduction to Sociolinguistics⑥ 2ターム 12:00-14:00 Changing English 14:00-16:00 Introduction to Sociolinguistics
金	1・2ターム 10:00-12:00 Finnish1A(online)⑦
土・日	

### 履修科目や近況について

履修科目は英語学習に関するものが殆どで、翻訳に興味があるため翻訳の授業や、関連のありそうな授業を選びました。21世紀の文学に関する授業を履修したかったのですが、その授業を履修するために必須となる別の授業がスケジュールの関係でとれそうになかったため、諦めました。⑦のフィンランド語の授業に関してはスケジュール上は時間が決められていますが、自分の空いている時間に自分のペースで進めるものであり、期限までにすべての授業を視聴するという形です。私は交換留学生という形で留学しているため、学習要件は母国の大学に従うようにということで、1タームでいくつ授業を取らないといけないというような決まりは一つもありませんでした。英語で開講されているものに限りませんが、学部を超えて授業の履修も可能なようです。

① Trends in Anglophone Literature は英語圏文学の風潮の変化について学びました。計4回の授業ですでに終了していますが、4回の授業を受けてそれぞれの授業の内容を踏まえて自身の考えや気づきをまとめたレクチャーダイアリーというものの提出が最終課題となっています。

② Introduction to English Studies は言語・文学・翻訳の3部構成になっており、それぞれ各分野の専門の先生方が実験的・理論的な観察などを踏まえたプレゼンテーションをしてくださいます。また、分野別に文献講読が求められており、その文献とそれぞれのプレゼンテーションを踏まえて、自身の考えをまとめるレクチャーダイアリーが最終課題となっています。

③ Societal Perspective on Translation は翻訳の役割や社会に与える影響、翻訳の制

限など、多角的視点から翻訳を学ぶ授業です。まだ授業が始まっていないため詳細は分かりませんが一番楽しみにしている授業です。自身の言語のバックグラウンドについて、文献を通じた自身の考えやまとめ、第二言語習得途中の人へのインタビューについてそれぞれまとめた3つのレポート、さらに自身でテーマを選択し文献を参考にしながら考えを述べるレポートが最終課題です。

- ④ Second language acquisition は様々な視点から第二言語の習得について学びます。ティーチングメソッドやモチベーション、学習者の能力や獲得過程の観察など、自身が現在英語を第二言語としている身からすると、自身と照らし合わせて考えられるためとてもためになる授業です。
- ⑤ Changing English は英語がこれまでにどのように変化を遂げてきたのか社会学、構造、文学からといったように多角的に変化を学びます。この授業もまだ始まっていないので詳細は分かりません。
- ⑥ Introduction to Sociolinguistics は丁寧さ・言語の変化・優位性など社会学的視点から、対象が変わると言葉も変わるのか、アクセントに対する考え方などを学んでいます。言語は英語ですが、言語そのものの捉え方や捉えられ方を学ぶことが出来ます。授業の中で自分が興味を持った社会言語学に関するテーマのプレゼンテーションを行います。最終的にその場でもらったフィードバックと、5つ以上の文献の参照が必須となったレポート（5ページ程度）の提出が最終課題です。
- ⑦ Finnish1A はフィンランド語完全初心者向けの授業で、オンラインのため自身で進めていきます。数字の教え方や簡単な自己紹介の仕方、動詞の活用などを学んでいます。コースの最後にテストがあり、そこで基準点を超えれば単位を貰うことが出来ます。

生活面では三人でのシェアアパートで生活しており、個人の部屋があり、キッチン、トイレ、シャワーが共用となっています。部活動やサークルといったものには所属していませんが、留学生が参加できるグループに入っているので、気になったイベントがあった際に友達と出かける形です。また、コーヒーフレンズという、のんびりしたアクティビティをしながら他の学生と交流するイベントが最近始まったようなので来週から参加しようと考えています。学食はメインを選択し、野菜や副菜、パンがビュッフェ形式で好きなだけ取ることが出来ます。メニューや成分表示は各レストランのサイトで公開されるので、事前に調べて、レストランを選んで友達と食べています。学生証を見せるとかなり安く食べることが出来ます。また、9月の末にオーロラを見ることが出来ました。これから寒くなるとさらに見える確率が上がるようなので楽しみにしています。



アパートの共有部分



学食

## 海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部

学年：3年

留学先大学：University of Eastern Finland

現在の学期：Spring semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	12:00-14:00 Learner Corpus Research
水	12:00-14:00 Structures of English1
木	12:00-14:00 English as a World Language
金	
土・日	Online: Translation Quality and Usability

履修科目や近況について

Learner Corpus Research は秋学期に履修していた Second language acquisition と繋がりのある授業で、コーパスにフォーカスした授業です。インタビューを始めとしたさまざまな情報から集められた単語や語彙の使われ方に着目し特徴を見つけたり分析したりします。これまでコーパスという言葉自体は知っていたものの実際に使用したことが無かったので最初は戸惑いました。かなりの量のデータがあるので毎回新たな発見があって面白いです。最終的に自分で選んだトピックで15分間のプレゼンテーションを行います。具体的なテーマはまだ決めていませんが、日本人の英語を1つの比較材料にしようと考えています。

Structures of English1 は英語の構造について学ぶ授業です。千葉大学でも似ている授業を履修していたので比較的理解がしやすいです。これまで英語で学んできましたが、英語の構造を1から学ぶのは新鮮で毎回確認課題が出されるので復習もしっかりできています。留学に来てから伝えることに重きを置いていて文法が正しくないと自分自身でも感じる事が多々あるので、この授業でもう一度学び直したいと思います。

English as a World Language は秋学期に履修していた Changing English の続きとなる授業です。英語の変化ではなくそれぞれの地域でどのように英語が派生していったのかや英語の Lingua franca としての役割などを学びます。私はネイティブ話者ではないので日本人が内側から見てどのような立ち位置の英語話者として認識されているのかや、イギリスとアメリカの英語はどちらがオリジナルであるのかといった点がとても興味深く、楽しく授業を受けることができています。

Research in Translation History という授業を取るつもりでいましたが、履修希望者が少なく、開講されませんでした。楽しみにしていた授業の一つだったので残念です。

Translation Quality and Usability は対面の授業ではなく、Moodle 上で自分のペースで学習を進める形です。全部で10のタスクがあり、毎回決められた文献を読んで提示されたトピックに沿ってエッセイを書きます。私は翻訳を勉強したくてこの大学を選んだので、毎回違うトピックで様々な側面から翻訳を学ぶことが出来て楽しいです。自分が時間のある時にできるのもいい点だと思います。

学期が変わり、新しいルームメイトが来たり、新しい授業になり秋学期とはまた違った人間関係の構築に始めは不安を感じていましたが、学校生活に対する不安がない分落ち着いて生活できているように思います。毎日気温が-15度前後の日々ですが、フィンランドに来る前に覚悟していたよりは対応できていると感じています。日照時間が短いのが少し辛いですが日本から持参したビタミンDを毎日飲んで対策しています。外で長時間の運動が出来ないので健康のためにジムを契約しました。春学期間の契約で4,200円ほどなのでかなりお得だと思います。また、アパートにあるサウナを週に一回毎週利用しています。個人利用を望まなければ無料で利用できるのもとてもありがたいです。学内のイベントではCoffee and Friendsというコーヒーを飲みながらボードゲームや塗り絵、おしゃべりを楽しむイベントが毎週火曜に行われており、秋学期には参加していませんでしたが今学期は行けるときに行っています。参加は自由で無料でコーヒーや紅茶、クッキーやサンドイッチなどが提供され、友達作りやアクティビティを楽しむことが出来ます。

冬休みを利用して、いくつかの国に旅行に行きました。本場のクリスマスは規模がとても大きく感動しました。治安はどの国も比較的よかったです。留学に来る前、フィンランドでは寒すぎて使い物にならないためカイロは必要ないというレポートを見てあまり持ってこなかったのですが、他の国に旅行に行った際、あったら良かったと思うことがありました。そのため、荷物に余裕があればいくつか持ってくることをお勧めします。



↑ ↓ 毎日雪が降り続けています



Coffee and friends



ベルリンのクリスマスマーケット